

「各大会におけるマッチオフィシャル（MO）並びにテクニカルデレゲート（TD）
の任務と競技運営に関する事項（日本協会競技・審判本部発行）」

補足資料

MO および TD の心得

～ 第 1 版 ～

2020 年 4 月 1 日
競技・審判本部



目次

マッチオフィシャル（MO）の準備および大会期間中の任務	1
大会前	1
試合前	1
試合中	2
試合後	3
一般的な任務（大会中の担当試合以外での業務）	3
レフェリーのオブザーバー（評価者）としての活動	3
タイムキーパー／スコアキーパーとしての TD の準備および大会期間中の任務	4
大会前	4
試合前	4
レフェリーのオブザーバー（評価者）としての活動	7
タイムキーパーとしての TD の追加業務	8
試合の流れに応じた MO および TD の任務（事例研究）	
<MO および TD は最新の競技規則および競技運営に関する通知について理解しておく>	9
試合前	9
試合中	13
ハーフタイム中	28
試合後	28
7メートルスローコンテスト	29
運営業務（大会役員・会場責任者と協働して）	32

マッチオフィシャル（MO）の準備および大会期間中の任務

大会前		
自宅での準備	研修会	
大会前に自宅での準備 - 競技規則と関連する規則・通達を学習します。 - 日本協会審判本部が提示している、競技規則書・競技規則研究に関するガイドライン・競技規則問題集（特に第2条、第4条、および第8条に関連）を元に学習します。 - 日本協会競技・審判本部からの通達された内容（映像資料も含めて）を学習しておきます。 - レフェリー評価者としての、評価方法について確認しておきます。	TD研修会への参加	大会前までに行われる競技規則試験に合格

試合前		
服装	機器類と広告に関する規定	テレビ
- MOは、通知に従って主催者によって定められた服装を着用しなければなりません。 - 更に、MOはすべての競技役員が指定された服装に従っているか、管理すべきです。	MOは、大会関係者がコートを設置状況や機器、および広告に関する規定を遵守していることを確認しなければなりません。	MOは、大会関係者と協力し、テレビカメラマンが試合中にベンチなど特別な場所での撮影を許可するか否かを決めておきます。

試 合 中

スーパーバイザー業務	通信機器	交代地域	ゲーム観察
<ul style="list-style-type: none"> - 日本協会主催大会ではジャッジズテーブル（以下、記録席）で2名のTDと一緒に業務を行わなければなりません。 - タイムキーパーを担うTD（以下、TK）とスコアキーパーを担うTD（以下、SK）の2名を指導する立場として、チームワークで不測の事態に備え、どのような状況にでも対応できる準備をしておきます。 	<ul style="list-style-type: none"> - 日本協会競技・審判本部の指示に従って、レフェリー、TK、SKと通信できるヘッドセットを使用してください。 - 最新のルールに従ってレフェリーとチームをサポートします。 	<ul style="list-style-type: none"> - 交代地域規定に従った振る舞いに気を払います。 本当に必要な場合以外は、MO席を離れないようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> - 試合にすべてを集中し、他の業務をしてはいけません。 - チームによる公式な抗議につながる、競技規則に従っていない判断をすることを避けるため、適切な判定を下さなければなりません。 <p>メモ：</p> <p>MOは、事実観察に基づいてレフェリーが行った判定を除き、ゲームを中断したり、規則違反についてレフェリーに忠告を行う権利を持っています。</p> <p>試合中に特別な事態が発生した場合、MOは最終決定をしないといけません。その場合は、直ちに大会委員長等に連絡します。判断が難しい場合は、最初に大会委員長に相談することを推奨します。</p>

試合後

報告書

競技規則と関連し、報告書の作成が必要となった場合は、報告書を裁定委員会に提出してください。

チーム紹介時における不適切な振る舞いや、競技規則や通達等で禁止された装具を選手が使用した（試合前に正さずに競技に参加した）場合も含まれます。

一般的な任務（大会中の担当試合以外での業務）

利用できるものとして	ミーティング
緊急時に電話やメッセージなど受けとれるように大会委員長に連絡先を伝えておきます。	<ul style="list-style-type: none">- チームと一緒にテクニカルミーティング（代表者会議）などに出席します。- レフェリー・TDが招集されるテクニカルミーティングに出席します。- その他必要に応じて、招待される各種会合に出席します。

レフェリーのオブザーバー（評価者）としての活動

- 担当の試合ではレフェリーオブザーバーとしても活動をします。
- ソフトウェア” Dartfish” 等の映像を使用し、レフェリーへの指導およびフィードバックを行います。
- 各試合の後、レフェリー評価票をもとに、レフェリーペアと簡単なミーティングを行います。
- レフェリー評価票を完成させ、審判長に提出します。

タイムキーパー／スコアキーパーとしての TD の準備および大会期間中の任務

大会前		
自宅での準備	準備すべき項目	
大会前に各自家庭で準備すること - 競技規則と関連する規則・通達を学習します。 - 日本協会審判本部が提示している、競技規則書・競技規則研究に関するガイドライン・競技規則問題集（特に第2条、第4条、および第8条に関連）を元に学習します。 - 日本協会競技・審判本部からの通達された内容（映像資料も含めて）を学習しておきます。 - レフェリー評価者としての、評価方法について確認しておきます。 - 競技規則の研究。	TD会議等に参加すること	大会前までに行われる競技規則試験に合格しておくこと

試合前		
服装	公式記録用紙	機器とその機能の確認
- TDは、通知に従って主催者によって定められた服装を着用しなければなりません。 - 更に、TDはすべての競技役員が指定された服装に従っているか、管理すべきです。	- TDは試合開始10分前までに各チームの「チーム責任者」によって公式記録用紙にサインがされてあることを確認しなければならない。	- TDは記録席に予備のタイマー、タイムキーパーのためのストップウォッチや笛（または他の合図を送るための器具）などの必要な備品が準備されていることを確認しなければならない。

服 装	公式記録用紙	機器とその機能の確認
		<ul style="list-style-type: none"> - TDは公式試合球が準備されてあることを確認しなければならない。 - TDは会場責任者（競技会場の代表）と協力して電算タイマーやスコアボードの機能が正常であるか確認しなければならない。 - TDは公式記録用紙が準備されてあるか確認しなければならない。TDはIDカードを携帯する、A、B、C、Dを含むチーム役員が公式記録用紙に記載されているかを確認しなければならない。 - 大会の開始時のテクニカルミーティング（代表者会議）において、決定された事項と最新のルールに従って、以下のことが確認されなければならない。 <ul style="list-style-type: none"> a. 選手の名前と番号の整合性：選手の番号と登録番号とが合っているか（どの選手も大会期間中は同じ番号のユニホームを着用しなければならない）を確認しなければならない。

服 装	公式記録用紙	機器とその機能の確認
		<p>b. 選手のユニホーム：各チームは大会開始前の代表者会議で許可されたのユニホームを着用しなければならない。チーム名や都道府県名、メーカーロゴ等、大会規程に則っているか確認しなければならない。</p> <p>c. 選手のユニホームの背面には少なくとも 20cm 以上で、前面には 10cm 以上の大きさの番号を表示しなければならない。使用可能な番号は 1 から 99 までである。</p> <p>d. 各チームのゴールキーパーは同じ色のユニホームを着用しなければならない。</p>

レフェリーのオブザーバー（評価者）としての活動

監 督	コミュニケーション	交代地域	競技時間	試合観察
<ul style="list-style-type: none"> - 開催地のタイムキーパーとスコアキーパーをそれぞれ監督する。チームワークの精神を持って、どのような状況でもサポートを行う。 - 試合に指名された開催地のタイムキーパーとスコアキーパーとチームになりTDは監督する。 - 可能な限り、試合の前後または試合中に起こる全ての出来事に注意を払い、抗議につながるように出来事を防ぐように努めなければならない。また、試合中起こりうる事象に対して説明責任を負うことを肝に銘じておく。 	<ul style="list-style-type: none"> - ヘッドセット（通信機器）が5台使用が可能な場合は、MO、TD、およびレフェリーで使用し、競技・審判本部によって提示された最新の指示に従ってコミュニケーションを図る。 - ヘッドセットが最低の3台の場合は、レフェリーおよびMOが使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> - MOと協力して競技規則および交代地域規程従って交代地域の秩序を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> - TDには正確な競技時間を管理する責任がある。競技時間の管理が不適切な場合は、MOおよびレフェリーが正確な競技時間を決定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> - 競技中は試合とスコアキーパー、またタイムキーパーの業務に集中して取り組むこと。 - TDの主な業務と責任は競技が競技規則や各種規程に則って正しく行われていることを確認することである。 - 正当な抗議につながるような状況を避けることに専念しなければならない。 - 一方で、TDはレフェリーではない。レフェリーのみが事実判定に関する責任を負う。 - TDは判定を下す権限は与えられていないので、競技規則運用に関し、求められればアドバイスをすることのみを徹する。

タイムキーパーとしての TD の追加業務

- 競技時間、競技の中断、退場時間、選手の入退場に関する管理をすること。

- タイムアウトの際には、即座に競技タイマーを止めること、試合再開の際には、競技タイマーを再開すること。タイムキーパーはレフェリーやMOが笛による合図で競技を中断した場合は、即座に競技タイマーを止めること。

- レフェリーにより判定された全ての罰則を確認すること。

- 以下の点を確認すること。
 - a. 退場時間中に退場した選手が交代地域にいること。
 - b. 失格した選手や役員が競技再開前に交代地域より去っていること。

- レフェリーが3回目の退場を判定し、その結果、失格となった選手にレッドカード（失格）であることをはっきりと伝えること。

- それぞれの交代ラインの間のみを通して、選手が入退場することを監視すること。

- レフェリーと協力してハーフタイム中に公式試合球に何らかの細工がされないように注意すること。

試合の流れに応じた MO および TD の任務（事例研究）

<MO および TD は最新の競技規則および競技運営に関する通知について理解しておく>

試合前				
テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
必要な 機器備品	ホイッスル・公式記録用紙・タイムアウトグリーンカード、イエローカード、レッドカード、マッチレポート、チームオフィシャルA～F用IDカード、予備カード、公式試合球、予備ストップウォッチがない	全てが揃っているかをTDが確認する。 ない器具・備品は補充する。	MO・TDの任務	MO・TD
	公式掲示時計、退場者掲示が操作できない	予備のストップウォッチで計測、一定の間隔でアナウンス、手動掲示板で残り時間を示す。	MO・TDの任務	MO・TD
コート	ベンチの位置などが不適切	修正する。必要に応じて緩衝剤、保護材でカバーする。	第1条 図3	MO・TD
	安全地帯の確保ができていない。危険な広告ボード。	修正する。必要に応じて緩衝剤、保護材でカバーする。	1:1 第2段落	MO・TD
	コート、ラインの不備	修正する	第1条	MO・TD
準備	スコア記載の誤り	修正する		MO・TD
	選手の背番号がスコアシートに記載されている番号と異なる	試合前に提出されたメンバー表通りに修正を求める	4:8 第1段落 17:3 第1段落	MO・TD
	メンバー表の提出が遅れる	メンバー表の提出を求める。必要に応じて、公式記録用紙に記入させる。		MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	試合開前 10 分前に公式記録用紙にチームオフィシャルAがサインしていない	別のチームオフィシャルに責任者を呼ぶよう要請する。必要に応じて公式記録用紙に署名を求める。		MO・TD
	選手がオフィシャルミーティングで承認されていない色のウェアを着用している	承認を受けた色のウェアの着用を求める。解決されない場合には、トーナメント表の後に記載されているチームがユニホームを変更しなければならない。したがって、チームは登録されたユニホーム全色を持参しておかなくてはならない。公式記録用紙に記入する。		MO・TD
	両チームのユニホームが同系色	競技規則に従い修正を求める。	4:7 第1段落	MO・TD
	チーム内で着用しているサイクリングパンツの色が統一されていない。	サイクリングパンツの交換あるいは着用しないよう求める。サイクリングパンツはチームで色を統一し、かつユニホームの基調色と同色でなければならない。		MO・TD
	レフェリーのシャツとチームのユニホームが同系色	レフェリーは5色目を選択する。問題がある場合には、黒色のウェアを着用する。	17:13	MO・TD
	ウォームアップ中に選手が負傷した。	試合開始 10 分前までは、選手の交代を行うことができる。		MO・TD
	GKと相手チームCPのユニホームの色が同系色	修正を求める。必要に応じて、GKが異なる色のスリーブレスシャツを着用することで修正する。	4:7	MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	Aチームの役員とBチームのCPのユニホームが同系色	Aチームの役員に修正を求める。	交代地域規程	MO・TD
	あるチームのユニホームの前面の選手番号がない。破損した。	ユニホームの変更を求める。必要に応じて、公式記録用紙に記入する。	4:6 第1段落	MO・TD
	選手がネックレスあるいはその他の（例：膝用プロテクター）、選手の安全を危険にさらすものを着用している。	修正を求める。改善されるまでは競技に参加することができない。	4:9	MO・TD
	試合前あるいはハーフタイム休憩後のチーム到着が遅れている。	公式記録用紙に記入をする。スポーツマンシップに反する行為として、必要に応じてチーム責任者に段階的罰則を与える。	8:7	MO・TD
	片方のチームが現れない。	遅刻の理由を明確にする。到着見込時間を確認する。		MO
	チーム紹介の前の準備のため、チームがコートを離れるのが遅すぎる。	MO・TDは速やかにコートを出るよう、準備をするよう求める。公式記録用紙に記入する。スポーツマンシップに反する行為としてチーム責任者に罰則を与える。	8:7	MO・TD
	チームが更衣室に行ったのち、チーム紹介に遅れてくる。	公式記録用紙に記入をする。スポーツマンシップに反する行為としてチーム責任者に罰則を与える。	8:7	MO・TD
	チームにゴールキーパーが同行していない。	公式記録用紙には背番号のみでゴールキーパーとして記載する場所はない。コートプレーヤーの中から1名がゴールキーパーとなる。	4:1 第1段落	チーム責任者 MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	チームにチーム責任者が同行していない	チームオフィシャルの所在を明らかにする。必要に応じ、登録していれば、試合に遅れて参加するかどうかの確認。選手が公式記録用紙に署名するなど、チーム責任者業務を引き継ぐことの可否を決定する。	4:2 第1段落	MO
	チームがベンチ後方で通訳者を配置すること希望。しかし、当該通訳者はチーム役員としてチームリストに登録されている。	チーム役員として登録されている場合に限り、交代地域の後方に席を設けることが可能		MO
	チーム紹介のために整列しているとき、選手が自国国旗を持っている。あるいは、相手チームの国歌演奏の際に公正を欠く行為を行った。	このような行為を著しくスポーツマンシップに反する行為とみなし、報告書を伴う失格とする。公式記録用紙に記入をする。2分間退場は適用されず、選手の補充も不可とする。	8:10a 16:11b	MO・TD
	スコアボードの記録とスコアキーパーの記録とが一致していない	MO、TD、ローカルタイムキーパーで連携、確認し、修正を求める。		MO・TD
	チーム責任者Aが不在	他のチーム役員の中から1名がAとして指名されなければならない	4:2 第1段落	MO・TD
	TVプロデューサーがスローオフ時間の延長を要請	必要に応じMOのみが決定する		MO・TD
	前の試合の遅れが原因で、試合時間を延期しなければならない	MOが開始時間を決定する		MO・TD
	TDが1人しか会場に来ていない	MOは別のTDを指名するか、他の方法で対応する。		MO

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	審判の一人がアップ中に負傷した	MOは控え審判員1組を指名、あるいは別の方法で対応する。		MO
	CPがGKとしてプレーする際のスリーブレスシャツの使用	TD及びMOが決定する		MO・TD
	交代地域エリアにボール（ボールケース）がある（試合開始前、ハーフタイム終了後）	ボールの撤去を求める。ボールケースごとベンチの後方に置く	1:1 第2段落 交代地域規程	TD

試合中

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
時間管理	会場の公式時計が作動しない	予備の時計を使用し、アナウンスで一定の間隔で競技時間を競技場内に知らせる。		MO・TD
	会場の公式時計が途中で故障	速やかに予備の時計を使用し、アナウンスで一定の間隔で競技時間を競技場内に知らせる。		MO・TD
	会場の公式時計と使用中のストップウォッチに誤差が生じた。	MOと協議し、必要な修正を行う。		MO・TD
	試合を中断できる（させなければならない）人物は？	記録席に配置された者が試合を中断できる。MO・TD・ローカルTK、SK		MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	会場の公式スコアボードに退場時間が表示できない。	準備されている退場用シートを使用する。		MO・TD
	プレイヤーの明らかな得点チャンスにタイムキーパーの笛で中断された。	<ul style="list-style-type: none"> ・守備側チームが交代違反：7mT ・ボール所持側が交代違反：相手チームのフリースロー ・守備側チームのその他の反則：7mT ・ボール所持側のその他の反則：相手チームのフリースロー ・無効なチームタイムアウトのホイッスル：7mT 	競技規則解釈 7	MO・TD
	プレイヤーの明らかな得点チャンスにMOの笛で中断された。	<ul style="list-style-type: none"> ・守備側チームが交代違反：7mT ・ボール所持側が交代違反：相手チームのフリースロー 	競技規則解釈 7	MO・TD
チーム タイムアウト	チームオフィシャルがコーチングゾーンを出て、グリーンカードを出すことを躊躇した。	コーチングゾーンに戻す。再び起こった場合には、段階的に罰する。	競技規則解釈 7	MO・TD
	MOが交代地域にいる選手もしくは役員に罰則を課すようレフェリーに指示している間に、そのチームからチームタイムアウトの申請が出された。	チームタイムアウトは認めず。グリーンカードを差し戻す。選手もしくは役員に罰則を課す。	交代地域規程	MO・TD
	選手・チーム役員が反スポーツマンシップによる行為により、タイムキーパーが笛で試合を中断した状況で、チーム役員がチームタイムアウトを申請した。	チームタイムアウトを認める。選手・チーム役員に罰則を課す。	競技規則解釈 3	MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	チームタイムアウトの条件が整っていない状態で、タイムキーパーが試合を中断した。	<p>グリーンカードを差し戻し、チームタイムアウトを認めない。</p> <p>適切な手続き・手順：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請が可能な回数・時間 ・ボールの所持 ・グリーンカードをテーブルに置く、TDに手渡しする ・当該チームのボールの所持が明らかである場合にTDが笛を吹く ・タイムキーパーは時計を止め計測を開始する 	競技規則解釈3	MO・TD
	60秒経過後に選手の準備が整っていない。	レフェリー、TD、MOは選手に準備を促す。スポーツマンシップに欠ける行為に関してはチーム責任者に罰則を課す。	交代地域規程	MO・TD
	スタンドのチーム役員がチームタイムアウトの最中にチームに対してアドバイスを行う。	アドバイスを控えさせる。繰り返しや程度によって、レフェリーが罰則を選手・チーム役員に与える。	交代地域規程	MO・TD
	チームAが57分に2回目のチームタイムアウトを申請。3枚目のグリーンカードはどうする。	TDが55分を過ぎた段階で、3枚目を回収する。もしくはその時点で、3枚目を返却するよう求める。	競技規則解釈3	TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	チームAがボールを所有状態で、タイムアウト（ゲームが中断）、同チームのチーム責任者がチームタイムアウトを要請。	チームタイムアウトは認められる：TDは速やかにホイッスルで合図。 チームタイムアウトの終了後、なお、タイムアウトの終了後その理由が継続している場合には、試合再開までチームタイムアウトは例外的に延長（交代地域規定に則る）。	2:10 競技規則解釈3	MO・TD
交代地域内における行為	チームリストに登録されていない者が交代地域内にいる。	・試合開前に修正（退出を指示する） ・試合中：チーム責任者に罰則。かつ退出させる。	4:2 第3段落	MO・TD
	コーチが立ち上がる。サイドライン沿いを歩く。	コーチングゾーンを出なければよい。スポーツマンシップに反する行為とはみなされない。		MO・TD
	コーチがジャッジズテーブルに向かってスポーツマンシップに反する言葉を発した。	TD・MOは速やかにホイッスルを吹く。必要に応じ、試合中断中にレフェリーに罰則を与えるよう求める。		MO・TD
	交代地域の後方で選手がウォーミングアップ	ボールの使用は認められない。常に動き続け、ウォーミングアップをしないようであれば、椅子に座らせる。ウォーミングアップ中に声を発しての自チームへの指示、応援はできない。その行為が行われていれば、まずは注意する。続けるようであれば椅子に座らせる。それでも指示に従わない場合には、罰則を適用するよう、レフェリーに促す。		MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	コーチが繰り返し、コーチングゾーンを離れて、選手に指示する。	初めは、改めさせる。繰り返し行われた場合には、レフェリーに罰則の適用を促す。		MO・TD
	複数の選手/チーム役員がジャッジズテーブルの前で立ち、コート視野を妨げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座るよう求める。 ・ 繰り返し行われた場合は、レフェリーに罰則の適用を促す。 		MO・TD
	レフェリーやMOに対する、コーチなどチーム役員による継続的スポーツマンシップに欠ける行為	レフェリーに罰則の適用を促す。		MO・TD
	観客に対する挑発的行為	レフェリーに罰則の適用を促す。		MO・TD
	5人目のチーム役員が試合中に交代エリアに入る。	登録されていない5人目のオフィシャルは排除、チーム責任者に罰則。		MO・TD
	MOに報告せずに選手及びチーム役員が交代地域を退出する。	<p>チーム役員：退出は認められるが交代地域の外からの助言は認められない</p> <p>選手：交代地域の外からの干渉は認められない</p>		MO・TD
	選手の負傷が深刻で、2名のチーム役員だけでは対処でない。	レフェリー、TD、MOは治療を認め、人を増やして運びだし、当該選手が必要とする治療の観察を行う。		MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
交代の違反	スコアシートに登録されていない選手がコートでプレーしている	チーム責任者に罰則を課す。選手に対する場即は8:3-8:10に基づく違反があった場合のみ。公式記録用紙に記載。		MO・TD
	選手の入場が早すぎる	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。相手チームのフリースローもしくは状況に応じて7mT	4:4 第1段落 4:5 競技規則解釈7	MO・TD
	入場が早すぎる選手が交代エリアに走って戻った。	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。相手チームのフリースローもしくは状況に応じて7mT	4:4 第1段落 4:5 競技規則解釈7	MO・TD
	交代してコートから出る選手が交代ラインの外側から出た。	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。相手チームのフリースローもしくは状況に応じて7mT	4:4 第1段落 4:5 競技規則解釈7	MO・TD
	交代してコートに入る選手が交代ラインの外側から入場した。	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。相手チームのフリースローもしくは状況に応じて7mT	4:4 第1段落 4:5 競技規則解釈7	MO・TD
	コート上に規定数以上の選手が存在	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。相手チームのフリースローもしくは状況に応じて7mT	4:1 第1段落 4:4 第1段落 4:5 競技規則解釈7	MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	タイムアウト中の交代の違反	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、当該者に退場を求める。タイムアウト中も交代地域規程は適用される。	2:8 第4段落 4:4 第3段落	MO・TD
	複数の選手が同時に交代の違反	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、最初に違反した選手にのみ罰則が適用される。TDは違反した選手を指示し、レフェリーが退場を求める。	4:5 第1段落	MO・TD
	試合中にチームAのコートプレーヤーがコート上に7人存在（GKは除く）した。最後に入った選手が特定できない。	チーム責任者に1名の退場者を決定させる。チームが決定しない場合には、MOが指名する。	4:5 4:6 第1段落	MO・TD
	2分間退場処分の選手がコートの外に出る際に、スポーツマンシップに反する行為を行った。	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、レフェリーに報告。レフェリーが追加で2分間退場を宣告する。4分間の退場。選手1名がコートに不在の状態。選手は2度目の退場となる。	16:9a	MO・TD
	交代地域にいる選手の違反	TD・MOは試合の中断をもとめ、レフェリーに報告。レフェリーはTD・MOの指示に従って罰則を課す。インプレー中であれば相手チームのフリースローで再開（必要に応じて7mT）	8:7 - 8:10 交代地域規程 競技規則解釈7	MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	退場あるいは失格した選手が交代エリアの外からコートを出た。	基本的には罰則は課さない。ただし、反スポーツマンシップに反する行為、マナーにかけると退出は認められない（必要に応じてTD・MOはホイッスルを吹き、レフェリーに罰則を促す場合もありうる）。	4:4 注 8:7 - 8:10	MO・TD
	コートに入る準備ができた選手が、誤って早すぎる入場（足半分）。有利な状況には至らなかった。	TD・MOはホイッスルを吹かない。罰則には当たらない。この状況はゴールエリアへの意図的でない侵入に関する規則と同等に扱われる。	6:2c 第2文	MO・TD
退場	退場選手のコートへの入場が早すぎる	TD・MOは即座にホイッスルを吹き、レフェリーに報告。レフェリーが追加で2分間退場を宣告する。チームは最初の退場の残り時間をもう1名減らした状態で行う。当該選手は再び2分間の退場。選手は2度目の退場となる。	4:6 第2段落	MO・TD
	チームタイムアウトの時間以外にチーム役員がコートに入った。	明確に有利にならない限り容認する。チーム責任者には報告、注意。繰り返し行われる場合にはスポーツマンシップに反する行為として罰則を課す。	4:4 注	MO・TD
	チーム役員が憂慮すべき態度で試合進行を妨げる。	TD・MOは次の試合中断時にあるいは必要に応じて即座にホイッスルで合図。レフェリーは違反の程度に応じて罰則を決定する。状況に合う再開が決定できなければ、相手チームのスロー、必要に応じて7mTとする。	4:2 第2段落 8:7 - 8:10 交代地域規程 競技規則解釈7	MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	7人目の選手がコートに入った。その選手のスリーブレスシャツがゴールキーパーのユニホームの色と違った。	TD・MOは速やかにホイッスルで合図。 コートプレーヤーと同じ色： 相手チームのフリースローで再開。交代違反で2分間退場。 他の色： 相手チームのフリースローで再開、交代を改め、プレーが認められるユニホームに着替える。	4:1 第3段落 4:7	MO・TD
3回目の退場	選手に対し、3度目の退場を宣告したが、レッドカードを提示する様子がない。	TD・MOは試合を中断しレフェリーに知らせる。失格を宣告し、交代地域から退出させる。失格者席に座わらせる。		MO・TD
失格	失格となった選手／チーク役員が交代地域にとどまる：退出しないで、失格者用席に座らない。	修正（移動）させる。チーム責任者に罰則を課す。	4:2 第3段落	MO・TD
	失格した選手が観客エリアに座らず、ベンチやコートの選手と接触できる場所に戻る	修正（移動）させる。従わない場合やスポーツマンシップに反する行為については公式記録用紙に記入する。	16:8 第1段落	MO・TD
	競技規則8:6及び8:10に関し、TDが報告書が必要か否かを判断できる根拠（基準）は何か？	レフェリーはチーム責任者、TD・MOに対してレッドカードを示した後、ブルーカードを示し報告書付きの失格であることを報告	16:8 第4段落	TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	失格処分に文書が必要-どのような手続きが必要か？	決定直後（試合再開前）にチーム責任者とT D・MOの両者に対して報告、試合終了後に公式記録用紙に記入する。	16:8 第4段落	MO・TD
	TD・MOがレフェリーの死角で失格処分に当たる行為があったことを確認した。	TD・MOは速やかにホイッスルを吹きレフェリーに知らせ。反則を犯した選手への罰則を求める。事実観察に基づくレフェリーによる決定ではない。	競技規則解釈7	TD
	TD・MOがレフェリーが失格処分に当たる行為があったことを確認するも、レフェリーは別の罰則を決定。	TD・MOからヘッドセットで知らせることは可能だが、競技規則解釈7を遵守した介入によるものではない。そのため、介入にはTDのホイッスルによる合図が必要。	競技規則解釈7	MO・TD
	5番の選手が受けるべきレッドカードを、レフェリーが10番の選手に対して示したことをTD・MOが確認した	TD・MOは速やかにホイッスルで合図し、レフェリーに知らせる。レフェリーによる判定が事実判定であることに基づき、レフェリーが間違いでないと判断したのであれば、その判定をに従う。	競技規則解釈7	MO・TD
	チーム役員Cが前半に失格処分になるも、後半5分経過してもベンチに座っている。	TD・MOは次回の試合中断時にホイッスルを吹いて合図。チーム責任者に対しての罰則をレフェリーに求める。チーム役員Cは交代エリアから速やかに退出しなければならない。公式記録用紙に記入する。	4:3 第3段落	MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	チーム責任者Aが失格処分。その後チーム役員CがAと話すためにベンチを離れる。	TD・MOは試合中断時にホイッスルで合図。レフェリーに対し、チーム役員Cへスポーツマンシップに反する行為として罰則を促す。公式記録用紙へ記入する。	交代地域規程	MO・TD
	チーム責任者Aが前半に失格処分。後半にチームリストに記載されていない人物が交代地域に存在する。	TD・MOは試合中断時にホイッスルを吹き合図。チーム責任者に対して罰則を付加する。リストにない人物に退席を求める。公式記録用紙に記入する。	4:2 第3段落	MO・TD
終了合図	フリースロー/7mTがまだ行われていない	終了合図の後にスローを実施：特別規定を適用	2:5	レフェリー TD
	フリースロー/7mT時に終了合図、まだボールが空中にある	ゴールインしても無効。スローを再び実施。	2:4 第2段落	レフェリー MO・TD
	インプレー中の反則：個人に対する罰則及び7mT	ハーフタイム直前または終了直前、あるいは終了合図と同時に反則があった場合には、違反とみなす（罰則、フリースロー、7mT）。またはレフェリーが最終合図までに笛を吹かなかった場合／最終合図の後に笛を吹かなかった場合も同様。	2:4 第1段落	TD
	フリースローや7mTが最終合図後に行われる状況で、スローが行わる前に守備側チームが交代を希望	認められない。誤った交代、コートに入ろうとした選手が違反となる。レフェリーが退場を判定する。	2:5	MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	最終合図の後、チームAはフリースロー／7mTを実行できる。チームBは負傷したゴールキーパーの交代を希望	認められる、フェアプレイの精神、ゴールキーパーの保護。	IHF通達	MO・TD
	チームAのフリースロー。選手がジャンプしてスローを行う。レフェリーがゴールを認める。	TD・MOからの介入は不可能。状況回避のためレフェリーに正しいスローが行われるようにインカムで通知し自覚させる。	競技規則解釈7	TD
特殊な出来事	コートに物が投げ込まれる／置かれている	TD・MOは試合を中断する。レフェリーに知らせる。チーム責任者、観客に対して試合が秩序正しく行われるよう求める。中断の状況に相応しいスローで競技を再開する。	競技規則解釈7	MO・TD
	観客がコートを走る	TD・MOは試合を中断する。レフェリーに知らせる。チーム責任者、観客に対して試合が秩序正しく行われるよう求める。中断の状況に相応しいスローで競技を再開する。	競技規則解釈7	MO・TD
	試合前/ハーフタイム終了後にチームのコート到着が遅れる	公式記録用紙に記入する。必要に応じてスポーツマンシップに反する行為としてチーム責任者に罰則を与える。		MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	観客間の暴力	TD・MOは試合を中断する。レフェリーに知らせる。大会責任者、観客に対して試合が秩序正しく行われるよう求める。中断の状況に相応しいスローで競技を再開する。	競技規則解釈7	MO・TD
	選手のユニホームがひどく破れているが、レフェリーがそれを確認できていない。	TD・MOは次の試合中断時にホイッスルで合図しレフェリーに知らせる。修正させる（着替えさせる）。同じ番号が原則。		MO・TD
	選手が出血しているが、レフェリーは気づいていない。	選手は求められずともコートを退出しなければならない。必要に応じてTD・MOが即座にあるいは次の試合中断中に介入する。止血が確認できるまでは、競技に参加することはできない。TDが確認する。	4:10 競技規則解釈7	MO・TD
	ホームチームのあまりに多い観客がコートの周辺に立って観戦している。	安全地帯の確認と監視を行い。観客席の明確化を求める。	1:1 第2段落	MO・TD
	レフェリーの誤審に対して、TDの対応は？	<ul style="list-style-type: none"> ・レフェリーの事実判定に基づく誤審：介入は不可 ・競技規則の運用に反するレフェリーの決定：事後の抗議回避のため、TDは速やかにホイッスルで合図して、レフェリーが規則に反していることを知らせる。 	競技規則解釈7	MO・TD

テーマ	事例	対処方法	参照規則	責任者
	レフェリーに誤審に対し、チーム責任者 A が抗議する状況における MO の行動	TD・MO は速やかにホイッスルで合図する。競技規則の運用に関する正当な抗議であれば、レフェリーに相談し、正しい運用に改める。レフェリーの判定が事実判定に基づく場合は、介入は不可。必要に応じ、競技規則の抗議該当部分に関し、チーム責任者に助言する。	競技規則解釈 7	MO・TD
	チーム責任者が自チームに対して、試合を放棄するように強要する。	TD・MO は速やかにホイッスルで合図する。チーム責任者の失格処分（報告書つき）を求める。他のチーム役員及び選手が落ち着くように努める。必要に応じその結果を会場内に伝える。	8:10	MO・TD
	チームリストに記載されていない人物（会長や団長）が自チームに対して、試合を断念するよう強要する。	チーム役員に対して、正式に許可されている者しか、試合に介入できないことを確認する。状況に応じてチーム責任者に対して罰則を課す。公式記録用紙に記入する。	4:2 第 3 段落	MO・TD
	チーム役員 B が BGM に関して、競技役員、TD・MO に苦情を申し立てる。	MO は会場責任者/会場アナウンサーに連絡し修正を求める		MO
	記録席からホイッスルで合図があるが、レフェリーは気づいていない。プレーが続行中。	レフェリーに気付かせるようあらゆる手段を用いる。ホイッスル後に起こった行為はすべて無効。ただし、タイムキーパーのホイッスルによる合図からレフェリーがそれに気づくまでに判定される罰則は有効。	2:9 注	MO・TD

テーマ	事 例	対処方法	参照規則	責任者
	選手 15 番が負傷し、レフェリーが入場を手で合図。役員 1 名と選手 1 名がコートに入る。	認められる。(資格のある 2 名のうち、うち 1 名が退場選手でも認められる)。医療的処置を行う際にのみコートへの入場が認められる。	4:11 第 1 段落 4:11 第 2 段落	MO・TD
	選手 22 番が交代地域を出て、更衣室へ移動。あるいは残りの試合を観戦するために観客席へ移動した。	試合の妨げにならない限り、移動を妨げることはできない。しかし、選手であるので、罰則を課せられる可能性はある。 例：その選手がスポーツマンシップに反する行為をした場合。	交代地域規程 最終段落	MO・TD
	MO・TD・LTK・LSKが体調不良でテーブルを退出する。	任務や責任は最初のメンバーで再編成される。		MO・TD
	試合後の正式抗議の回避策は、試合中の抗議につながりかねない事例は。	IHF大会の期間中では、試合終了後 1 時間以内の抗議のみ認められる。また、費用が発生する。		MO・TD

ハーフタイム中

事 例	対処方法	参照規則	責任者
スコアシートにデータに食い違いがある	食い違う項目を明確にする。MO・TD、電算チームで連携する。		MO・TD
チームのコートへの到着遅れ	公式記録用紙に記入、スポーツマンシップに反する行為としてチーム役員に罰則を課す		MO・TD

試合後

事 例	対処方法	参照規則	責任者
7mTの最中にチーム役員から抗議	MO・TDは7mTの実施を妨げないようにしてホイッスルで合図をする。チーム役員への失格処分をレフェリーに求める。	8:9 8:10 16:10	MO・TD
スコアシートにデータに食い違いがある	食い違う項目を明確にする。MO・TD、電算チームで連携する。		MO・TD
試合終了合図後の特殊な出来事（選手や役員による侮辱行為など）	レフェリーに知らせる：報告書を作成する。	16:11c	MO・TD

7メートルスローコンテスト

事 例	対処方法	参照規則	責任者
チームBの失格した選手が7 mTに指名される	修正を求める	2:2 注	MO・TD
チームAが退場処分を受けた選手を指名した。	修正を求める	2:2 注	MO
スローを行う選手とゴールキーパー以外の選手とチーム役員はどこにいるべきか？	7 mT コンテストに使用しない半分のコートの区域：センターラインから交代ライン 4.5mの間には入ってはならない。		MO
スローを行うチームのゴールキーパーの位置は。	コートサイドのサイドライン横。レフェリーの後方。		MO
チームBが一投ごとにゴールキーパーの交代を希望	認められる。	2:2 注 第1段落	MO
チームAがコートプレーヤーをゴールキーパーとして使用することを希望	認められる。	2:2 注 第1段落	MO
初回ラウンドで引き分け後、第2ラウンドでチームBが選手15番を指名	認められる。	2:2 注 第3段落	MO
第2ラウンドにおける7 mT コンテストの第1投者	初回ラウンドでの後攻チーム	2:2 注 第1段落	MO
チームBのゴールキーパーが第2ラウンドでAチームの7 mTの第1投をセーブ。その後チームBの第1投者が得点。	チームBの勝ち	2:2 注 第3段落	MO

事 例	対処方法	参照規則	責任者
チームBの7mT中、チームA選手/役員がコートの使用エ ンドにいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スローの妨げになる場合： TD・MOはホイッスルで合図、必要に応じてやり直し をレフェリーに知らせ、違反した選手/役員の位置を修正 する。 ・スローの妨げとならない場合： TD・MOは次のスローの前までにホイッスルで合図、 違反した選手/役員の位置を修正する。 ・再発時： TD・MOは次のスローまでにホイッスルで合図、レフ ェリーに失格処分を求める。 	2:2 注	レフェリー MO・TD
7mT中、選手/役員がMOに対し侮辱行為	TD・MOは次のスローのまでにホイッスルで合図、違反 した選手/役員の失格処分をレフェリーに求める（報告書付 き）。	16:6e 8:10a	MO・TD
指名され、スローする選手がMOに対し侮辱行為	TD・MOは次のスローのまでにホイッスルで合図、違反 した選手/役員の失格処分をレフェリーに求める（報告書付 き）。失格した選手と他の選手の交代は可能。	16:6e 8:10a 2:2 注 第4段落	MO・TD
チームAが4、7、11、13、19番の5名を指名。選 手13番が第1投者としてスロー。	認められる。アクションの必要なし。スローする順番は指 定されない。	2:2 注 第1段落	MO・TD
チームAが4、7、11、13、19番の5名を指名。選 手15番が第1投者としてスロー。	選手15番を指名選手に交代させる。	2:2 注 第1段落	MO・TD

事 例	対処方法	参照規則	責任者
チームBがゴールキーパーを7mTの投者に指名した。	認められる。アクションの必要なし。	2:2 注 第1段落	MO・TD
チームBは選手15名を試合登録（1名余裕がある状態）。7mスローコンテストの際に、16番目の選手として新たに18番の追加登録を希望。	認められない。追加登録が認められるのは、後半終了時及び延長戦後半終了時までのみ。	4:1 第4段落	MO・TD
7mT失敗後、当該選手がスタンドへ移動した。	基本的には認めれる。違反ではない。スポーツマンシップに反する行為が重大な場合にはTD・MOは速やかにホイッスルで合図、違反した選手の失格処分を求める。	交代地域規程5 最終段落	MO・TD
指名選手13番が7mT地点近くでなおトレーニングジャケットを着たままである。	当該選手にトレーニングジャケットを脱ぐよう求める。	4:7	MO・TD
選手7番がスロー直前にスローを行う手を負傷。	選手交代が可能。	2:2 注 第4段落	MO・TD
選手5番がスローを行い得点後、同一ラウンドで2回スローしたことが発覚。	TD・MOは速やかにホイッスルで合図、レフェリーに報告。ゴールは無効となり「スロー失敗」と記録される。スポーツマンシップにかける態度が深刻な場合、違反した選手の失格処分をレフェリーに求める。	2:2 注 第4段落	MO・TD
選手5番がスローを行い失敗後、同一ラウンドで2回スローしたことが発覚。	TD・MOは速やかにホイッスルで合図、レフェリーに報告。「スロー失敗」と記録される。スポーツマンシップにかける態度が深刻な場合、違反した選手の失格処分をレフェリーに求める。	2:2 注 第4段落	MO・TD

運營業務（大会役員・会場責任者と協働して）

テーマ	業 務
到着時の会場巡回	フロア、更衣室、ドーピング検査室、スコアボード、記録席、交代地域、コーチングゾーン、メディアゾーン、ミックスゾーン、インターネットアクセスセンター、役員・来賓等の控え室、ADセンターなどを中心に点検
チームホテル訪問	施設/設備が期待に沿うかを全代表団と確認する 以下を中心に： <ul style="list-style-type: none"> ・食事の質と量 ・宿泊 ・ミーティングルーム ・ランドリー ・輸送スケジュール及び時間設定 ・開催者及びチームガイドとの連携 デレゲートは代表団の課題や要請にこたえるため、食事やサービスの質を確認するためにランチやディナーを共にすべきである。
テクニカルミーティングの準備	ミーティングルームの確認 すべての必要機材（プロジェクター、電源、インターネットアクセス、プリンター、全連盟及びデレゲートのネームプレート、国歌確認のための音響機器）が使用可能であることを確認
テクニカルミーティングにおけるIHF役員の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・開会及び歓迎挨拶（代表者ら） ・競技運営規程の確認（COC競技運営委員会） ・競技規則の確認（PRC競技規則レフェリー委員会） ・ドーピング検査に関する確認 COCが不在の場合にはADU（アンチドーピングユニット） ・チームリストの確認 - IHF役員
LOC（開催地組織委員会）とのディリーミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・全試合日での反省 ・ポイントは運営上の諸問題、輸送、日程、ローカルタイムキーパー、ローカルスコアキーパーの業務状況 ・分析スタッフ及びスカウティングスタッフとの連携